北海道清里高等学校　学校運営協議会

コミュニティスクール通信

令和６年度第２号（令和６年12月２日発行）

【旧職員　牛島先生作　校舎からの斜里岳】

○11月15日(金) 令和6年度コミュニティスクール教育講演会○

11月15日（金)、清里町生涯学習総合センター(プラネット'97)を会場に、本校学校運営協議会（CS：コミュニティー・スクール）主催の教育講演会が実施されました。講師として開善塾教育相談研究所の藤崎育子所長をお招きし、「大人が子どもにできること ～不登校・ひきこもり青少年へのアウトリーチの現場から～」というテーマで講演をいただきました。教育関係者をはじめ、多くの方にご参加いただきました。

○11月15日(金) 第2回学校運営協議会○

【 討 議 内 容 】

● 前期学校評価　自己評価結果について

事務局より

・評価値が下がった要因は経験者が赴任したことで、良い意味で厳しい評価となった。

主な質問・意見・要望

・T-baseの評価値が下がっているが、職員はT-baseのことをどう考えているのか。
　⇒　転入者への学校運営に対する説明が不十分であったことが大きな要因。
・後期の評価は上がると期待して良いか。
　⇒　スクールミッションの確認を通して、職員の共通理解が進んできている。

● 令和８年度入学生の教育課程編成について

事務局より

・地域連携、国際理解、T-baseを継続、「探究心の育成」を柱にR８年度入学生の教育課程を編成中。

● 清里高等学校総合支援対策事業について

岩浪委員（町教委）より

・令和７年度から３年間の支援について今年が見直しの年（３年に一度見直し）である。
・高校からの要望や現在の検討状況について、ご意見を伺いたい。

主な質問・意見・要望

・高校が存在は町全体にとってプラスであることから、要望された新規事業に賛同できる。
・コロナ禍に広島見学を盛り込んだこともあったが、今回の支援は事業的支援、費用支援のどちらか。
　⇒　事業的な面ではなく費用負担の支援という形で検討している。（岩浪委員）
　　バス料金や宿泊料等の大幅な値上げもあり保護者負担の軽減はありがたい。（事務局）
・教科書代まで高校が補助することで生徒の甘えにつながることが心配。それよりも、部活の大会等の補助を手厚くするべきでは。大学受験支援も、就職者支援はなく、公平性が担保されないように感じる。
・入学支度金（教科書・制服・ジャージ等の購入費用）が前回の見直しの際に、廃止となった経緯がある。
　⇒　学校としても部活動で頑張っている生徒に対して何とかしてあげたいという気持ちはある。（事務局）
・部活動指導者について、コロナ以前は色々な指導者を呼んでいたと思うが、茶道だけではなく幅広くしてはどうか。
　⇒　その通りであり、様々な部活動で可能。（事務局）
・小清水からのスクールバスの土曜日運行は、提案理由を伺いたい。
　⇒　要望もあるが、環境を整備し生徒募集につなげたい。（事務局）
・町内（緑、札弦など）の通学バスについて支援を検討していただきたい。

● 北海道MA+CHプロジェクトについて

事務局より、進捗状況、今後の取組について報告。

● そ の 他

事務局より以下の３点について報告

・次年度、模擬試験の回数を減らす予定。必要に応じて、校外受験を体験させていく。
・漢字検定について、小・中、町教委と議論を重ねた上で、次年度から実施しない方向で調整中。
・部活動について、整理が必要であり丁寧に進めていく。（個人種目中心に、中学との連動を考慮）